

## イスターカーテン

## ミュート 下戸車タイプ 枠廻り

## 取付説明書

このたびは、TOKOの商品をご採用いただきましてありがとうございます。  
 商品の取り付けは、この説明書を必ず読み、安全に正しくおこなうようお願いいたします。  
 ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。  
 施工にあたって必ず守るようお願いいたします。

## 目次

□施工上の注意事項	P 1
□梱包内容	P 2~3
□工具類の確認	P 3
□取り付け手順	P 4
<b>1</b> アンカーの取り付け	P 4
■ アンカー取り付けピッチ	P 5~6
<b>2</b> 枠連結	P 7
■ 上枠連結	P 7
<b>3</b> 枠の組み立て	P 8
<b>4</b> 躯体の寸法確認	P 9
<b>5</b> 枠の取り付け精度	P 9
<b>6</b> 枠の建て込み	P 10~12
■ 下レール連結	P 11
■ 下レール取り付け	P 12

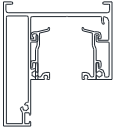
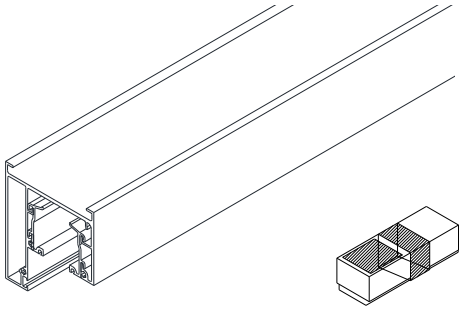

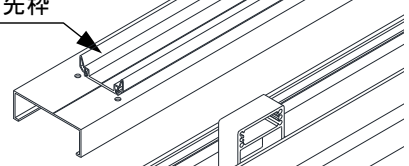
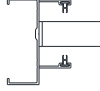


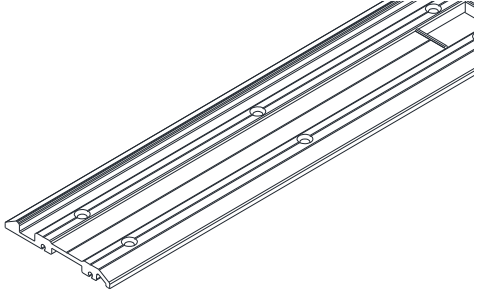

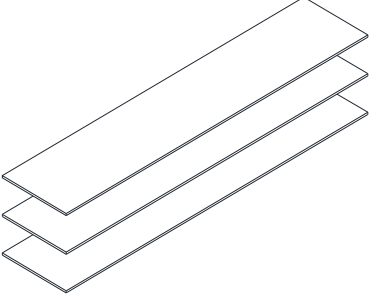
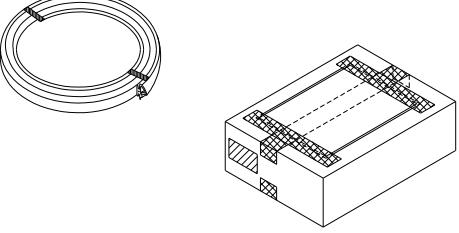
## □施工上の注意事項

- ① 各部材の組み立て・取り付けは、取付説明書通り確実にこなってください。
- ② ねじ止め箇所は、指示してあるねじをすべて確実に締めてください。
- ③ 指定の部品以外は使用しないでください。
- ④ 枠が躯体に納まるかどうか、躯体の開口幅・開口高を実測してください。
- ⑤ 枠の内法寸法を十分確認してください。
- ⑥ アルミ部材の腐食防止のため、以下の点に注意してください。
  - (1) 基礎用モルタルに海砂を使用しないでください。塩分が含まれていますので、腐食の原因になります。また、凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤などを使用しないでください。
  - (2) アルミ部材の表面に付着したモルタルや汚れは、速やかに取除いてください。
  - (3) アルミ部材と、銅板や鉄などの異なる金属が接触しないようにしてください。必要に応じて、ビニールテープ・塗装などにより絶縁処理をおこなってください。
- ⑦ 施工後、ボルトおよびねじ類にゆるみやガタツキ、その他使用上危険な箇所がないか点検してください。
- ⑧ 商品の外観に有害なキズ、ヘコミ等がないか確認してください。

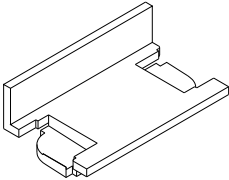
## □梱包内容

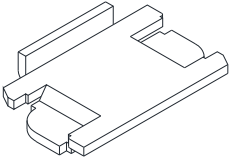
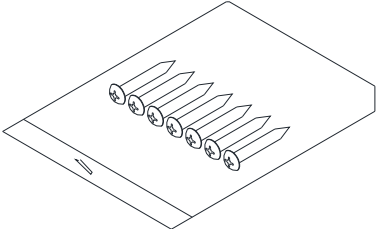
[ 枠梱包内容 ] ※開梱時に種類と有無の確認をおこなってください。

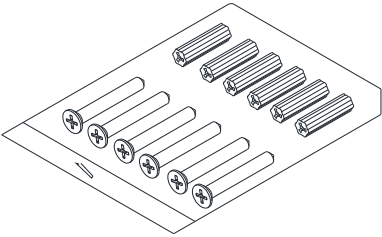
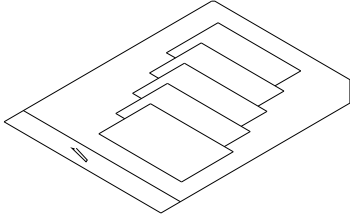
また、上枠、縦枠、下枠、タイト材セット(連結仕様のみ)は、別々に梱包してあります。

品名	形状		個数	備考
上枠			必要数	※上枠用附属部品箱同梱 (1箱/梱包)
縦枠	戸当たり枠 	戸先枠 	(片引き) 戸当たり枠:1本 吊元枠:1本	※縦枠用附属部品箱同梱 (1箱/梱包)
	吊元枠 	吊元枠 	(引分け) 吊元枠:2本	
下枠	下レール 		必要数	※下レール用附属部品箱 同梱 (1箱/梱包)
	スペーサー 		製品W/1m本 (定尺1m)	
※連結仕様 のみ タイト材セット			1箱	※枠連結仕様時のみ同梱 (1本/梱包)

[同梱部品(附属部品箱入り)]

上枠用附属部品箱	アンカー		必要数	・個数は、附属部品箱に記載
----------	------	---	-----	---------------

縦枠用附属部品箱	アンカー		必要数	・個数は、附属部品箱に記載
	枠組立ネジセット		1袋	・枠組立て用ねじ (+)タッピンねじバインド 4×40:7本 予備:1本含む

下レール用附属部品箱	レール取付ネジセット		1袋	・下レール取付用ねじ (+)皿木ねじ4. 1×32:必要数+予備 カール PC プラグ 6×25:必要数+予備 予備:レール1本につき2本
	底板ラベルセット		1袋	・下レール穴底隠し用ラベル:必要数

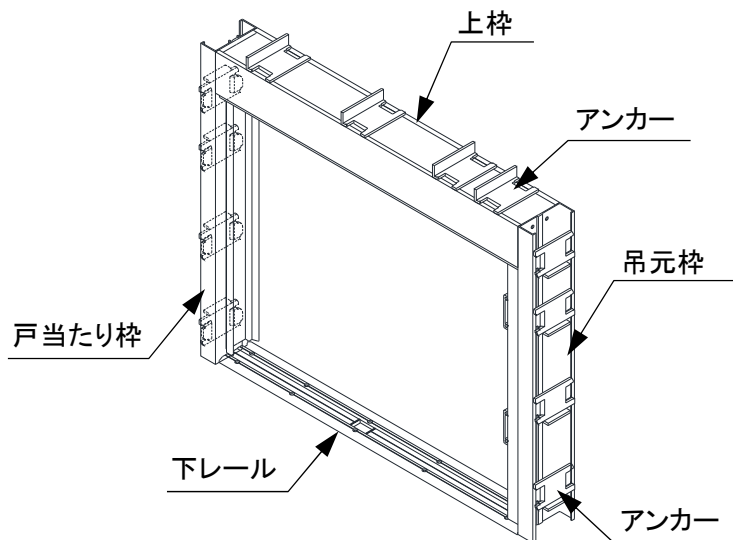
□工具類の確認

(+)手動ドライバー	延長コード(3芯アース、ブレーカー付き)
カッター	スケール
電動インパクトドライバー	コンクリートドリル
プライヤー	水平器
ひも	下げ振り
溶接機	

## □取り付け手順

施工は、以下の手順でおこなってください。  
本図は、片引き:右勝手を示す。

- 1 アンカーの取り付け
- 2 枠連結 (※連結仕様の場合)
- 3 枠の組み立て(片引き・引分け)
- 4 躯体の寸法確認
- 5 枠の取り付け精度
- 6 枠の建て込み



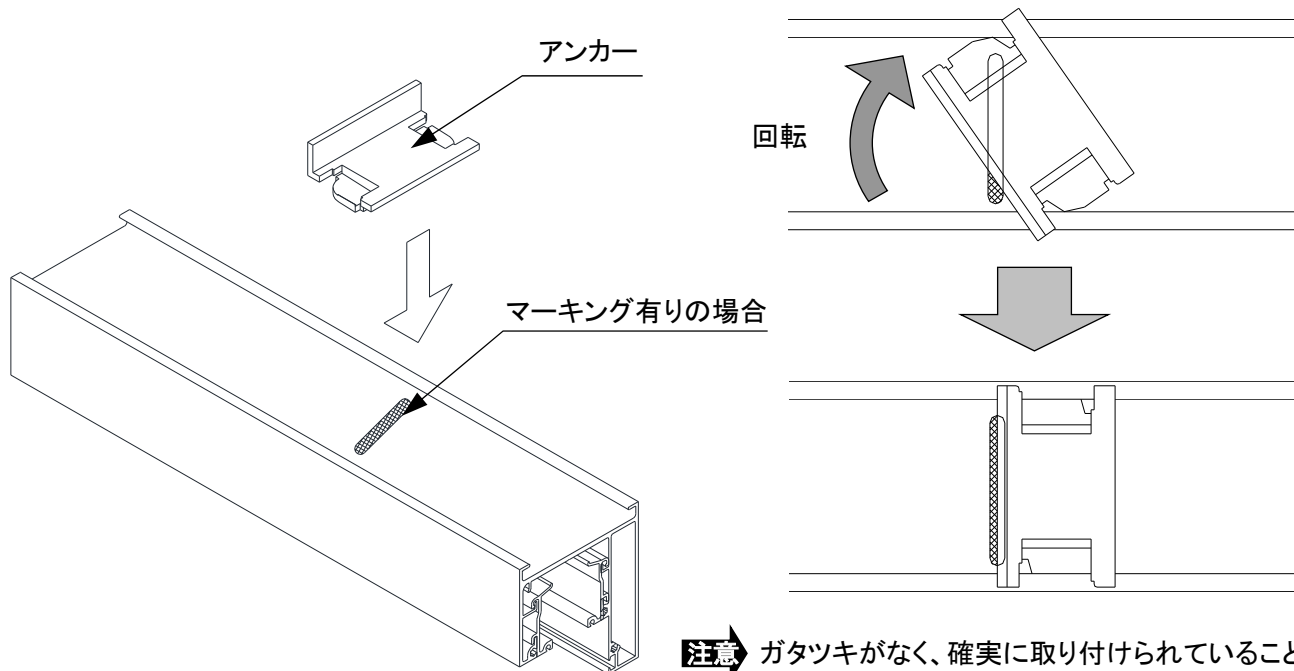
### 1 アンカーの取り付け

上枠・縦枠にアンカーを取り付けます。  
図は、上枠への取り付けを示します。縦枠への取り付けも上枠と同じ要領で取り付けます。

上枠のアンカーは、マーキングしてある箇所に、必ず取り付けてください。  
上枠以外のアンカーは、ピッチ 450mm 以下で取り付けてください。  
詳細は次ページからのアンカー取り付けピッチの図を参照してください。

[アンカーの取り付け]

- ① アンカーを取り付け箇所に置き、プライヤーにて下図のように回転させて取り付けます。



**注意** ガタツキがなく、確実に取り付けられていることを確認してください。

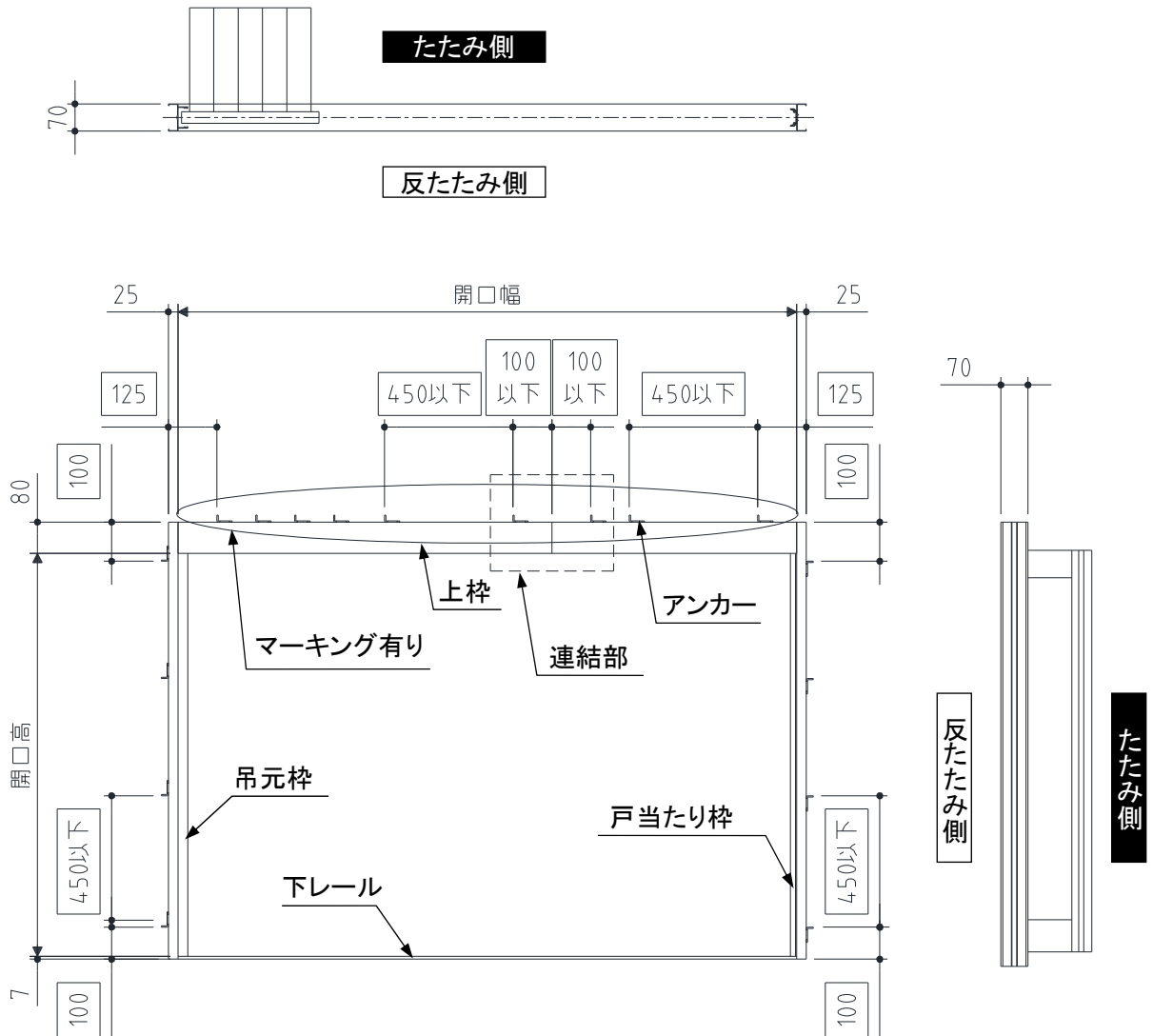
## ■アンカー取り付けピッチ

[片引き(右勝手)]

・      にて囲んである寸法は、アンカーの取り付けピッチ寸法です。

※寸法単位はmmです。

     は連結仕様の場合のみです。



※勝手の定義

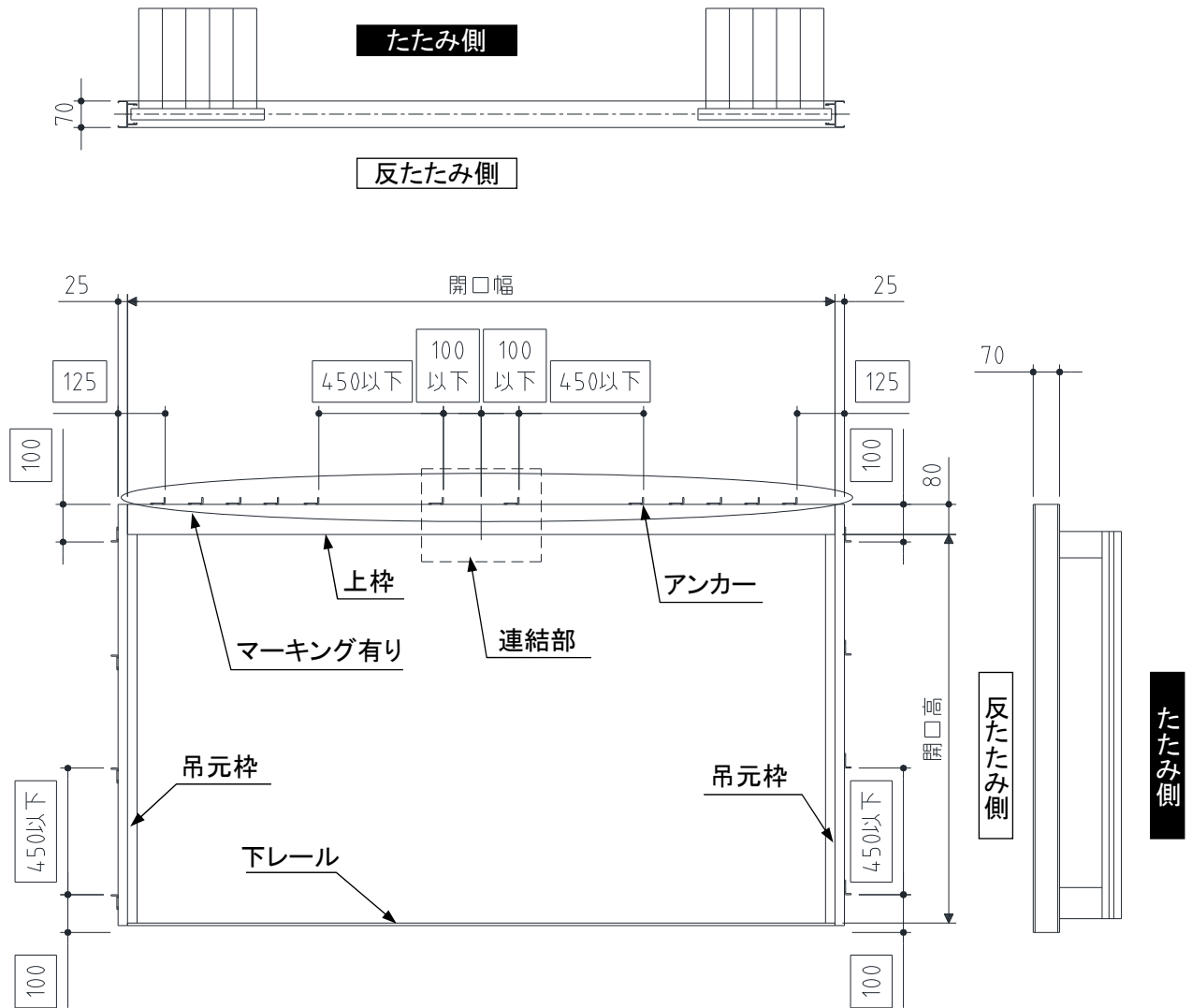
- ・右勝手は、たたみ側からみて右側に障子をたたむ場合。
- ・左勝手は、たたみ側からみて左側に障子をたたむ場合。

**[引分け]**

・   にて囲んである寸法は、アンカーの取り付けピッチ寸法です。

※寸法単位はmmです。

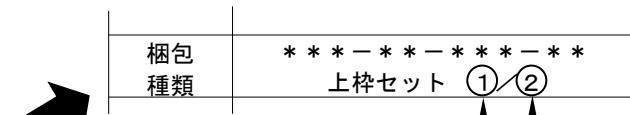
  は連結仕様の場合のみです。



## 2 枠連結(※連結仕様の場合)

上枠 および 下枠を連結する場合は、梱包の表示ラベルに明記してある順番で連結してください。

梱包種類	***-***-***-***
上枠セット	1/2
株式会社TOKO イスターカーテン ミュート	

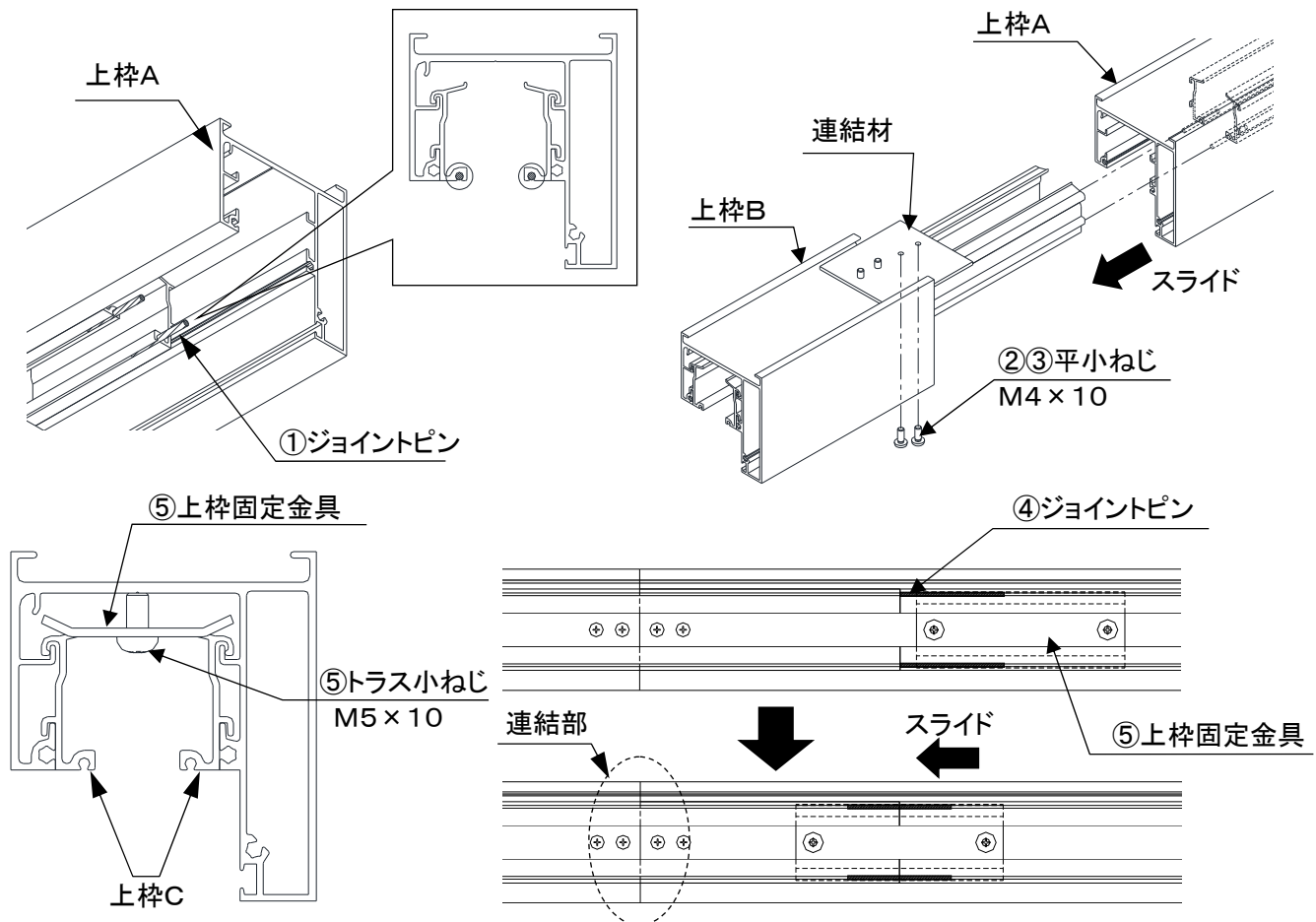


枠の分割数  
連結する順番  
・片引きの場合…吊元側より  
・引分けの場合…たたみ側より見て  
右側より

### ■ 上枠連結

- ①上枠Aに貼り付けてあるジョイントピンを袋から出し、上枠の○印部に挿入してください。
- ②上枠B 上部に取り付けてある(+)平小ねじM4×10 2本を取り外してください。
- ③上枠Aと上枠Bをスライドさせ、連結材と上枠Aとを(+)平小ねじM4×10にて固定してください。
- ④上枠連結後、①で挿入したジョイントピンを上枠Aと上枠Bに半分ずつ入るようにスライドさせてください。
- ⑤上部固定金具の(+)トラス小ねじM5×10を緩め、上枠Cの連結部に半分ずつかかるようにスライドさせ、再度(+)トラス小ねじM5×10を締めて固定してください。

**注意** 連結材を取り付ける際、電動インパクトは使用しないでください。  
連結部にズレやすき間がないことを確認してください。



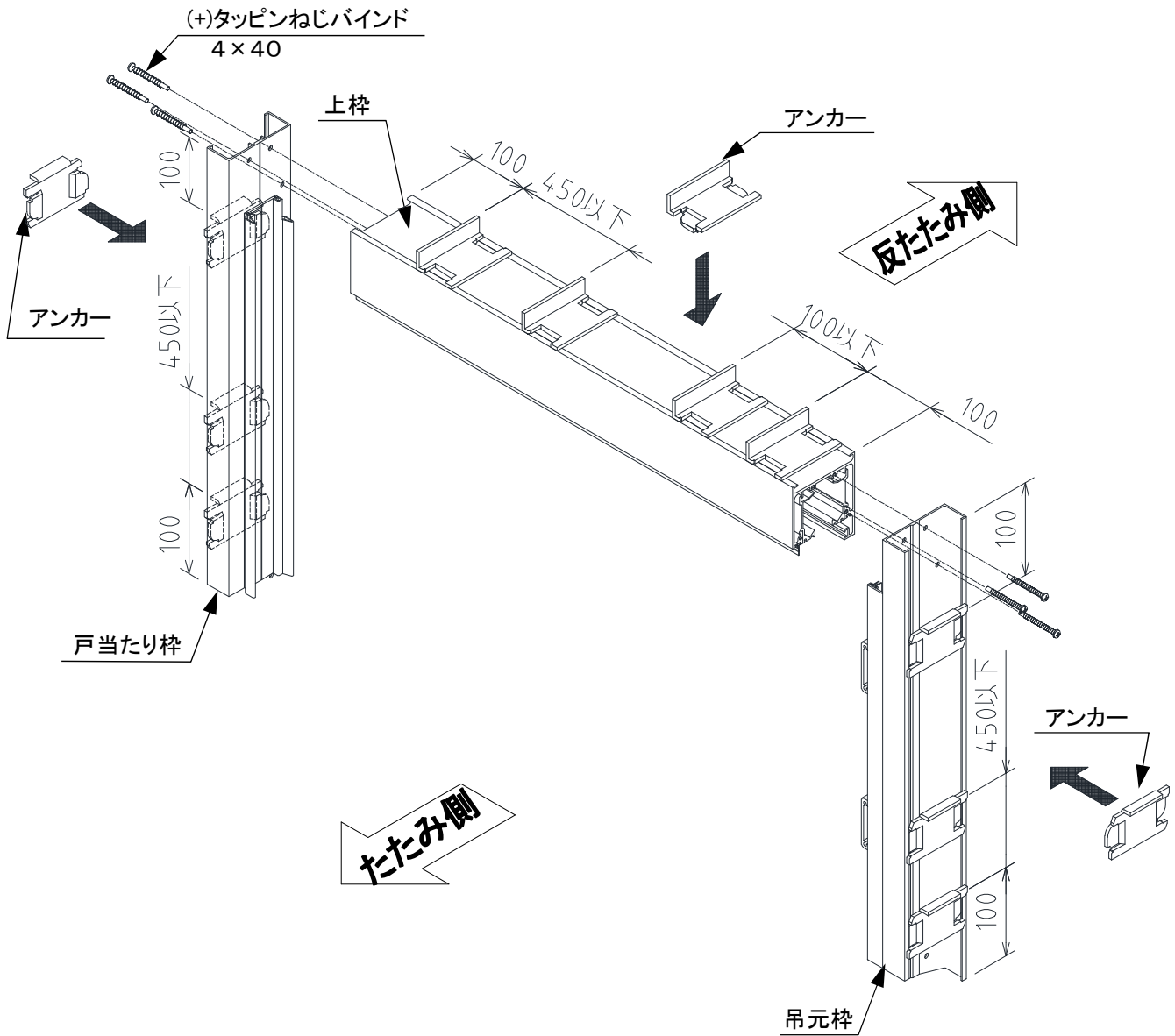
上枠をスライドさせて連結ができない場合は、上枠固定金具のトラス小ねじを緩め、上枠固定金具を取外し、上枠Cを取外すことで、スライドさせなくても連結が可能です。  
上枠連結後、上枠C、上枠固定金具を取り付けてください。

### 3 枠の組み立て

・扉のたたみ側を確認し、枠の垂直・水平度に注意して、上枠及び縦枠を(+)タッピンねじバインド 4×40 6本にて固定してください。

本図は、片引き:右勝手を示す。

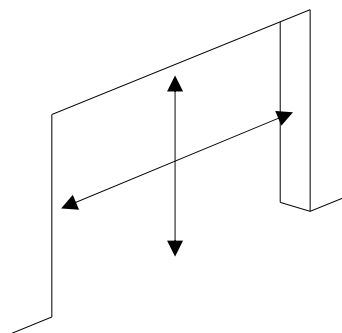
**注意** 下枠を接合する際に、向きに注意してください。  
ストッパーの位置を確認してください。





## 4 躯体の寸法確認

・現場の墨出し(レベル墨、寄り墨)を基準に  
開口幅、開口高寸法を実測し、枠が躯体開口部  
に納まるかどうか確認してください。



## 5 枠の取り付け精度

・下に示す、製品の各部寸法を確認してください。  
本製品は、枠のねじれ・たわみ・傾がり・倒れ等があると、障子の開閉や性能に悪影響をおよぼします。

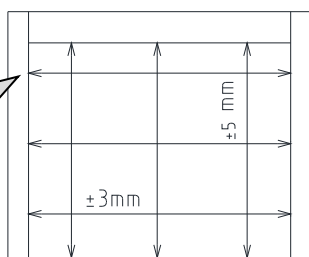
**注意**

特に、中央付近のH寸法には十分注意してください。

内法寸法

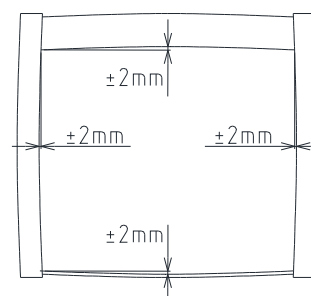
特に注意してください。

内法高さ±5 mm  
(左右中3ヶ所)  
内法巾±3 mm  
(上中下3ヶ所)



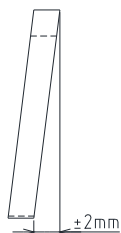
たわみ・そり

・上中左右各部材  
±2mm



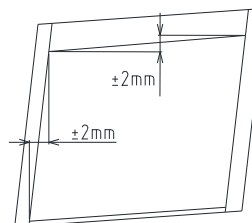
倒れ

・上下間±2mm

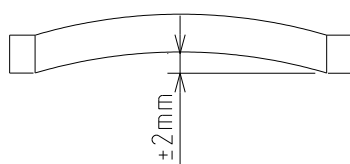


傾がり・水平度

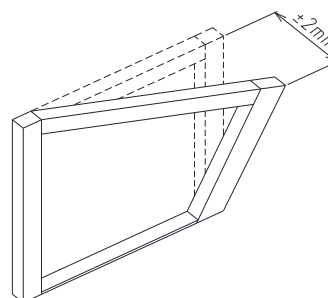
・部材両端間  
±2mm



内外へのふくらみ



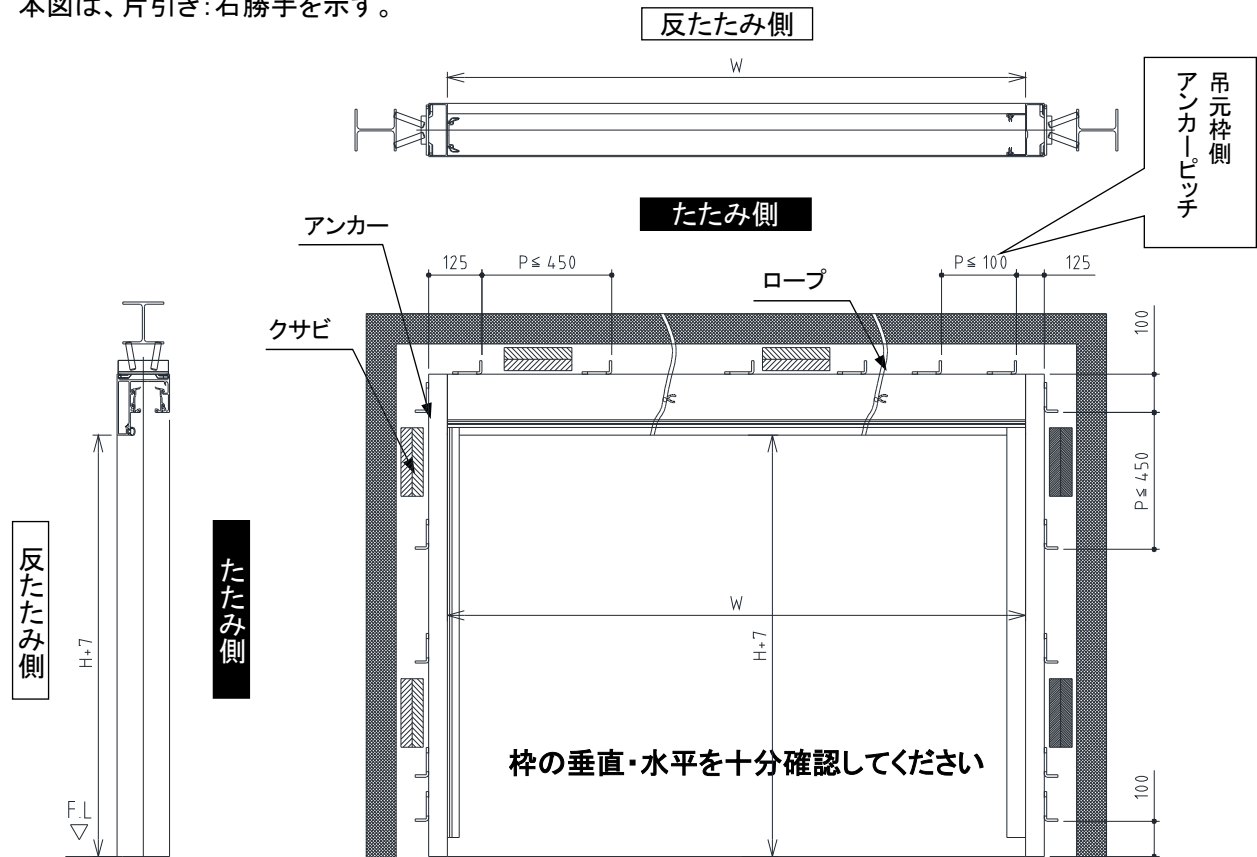
ねじれ



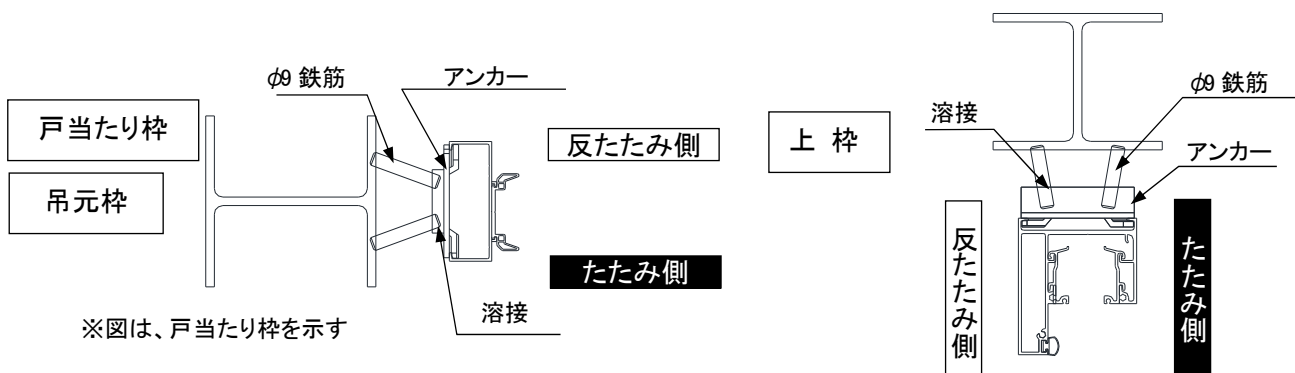
## 6 枠の建て込み

- 枠の内外・左右勝手を確認し、開口部にはめ込み、ロープ・クサビ等で仮止めしてください。
- 枠の取り付け精度(P9)を参考にして、枠の垂直・水平を十分確認してください。
- 割付けられたアンカーを、下図のように躯体に溶接止めしてください。

本図は、片引き:右勝手を示す。

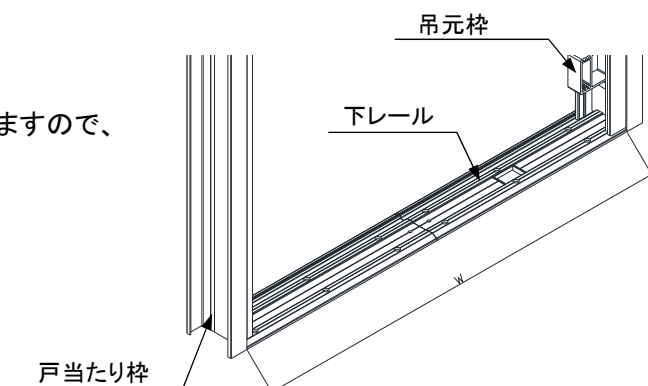


・アンカーは、必ず2カ所溶接して固定します。



**注意**

枠の取り付け精度を参考にして、  
枠の垂直、水平を十分確認してください。  
また、縦枠間には、下レールを入れ込みますので、  
縦枠間の開口寸法に注意してください。



## ■ 下レール連結(※連結仕様の場合)

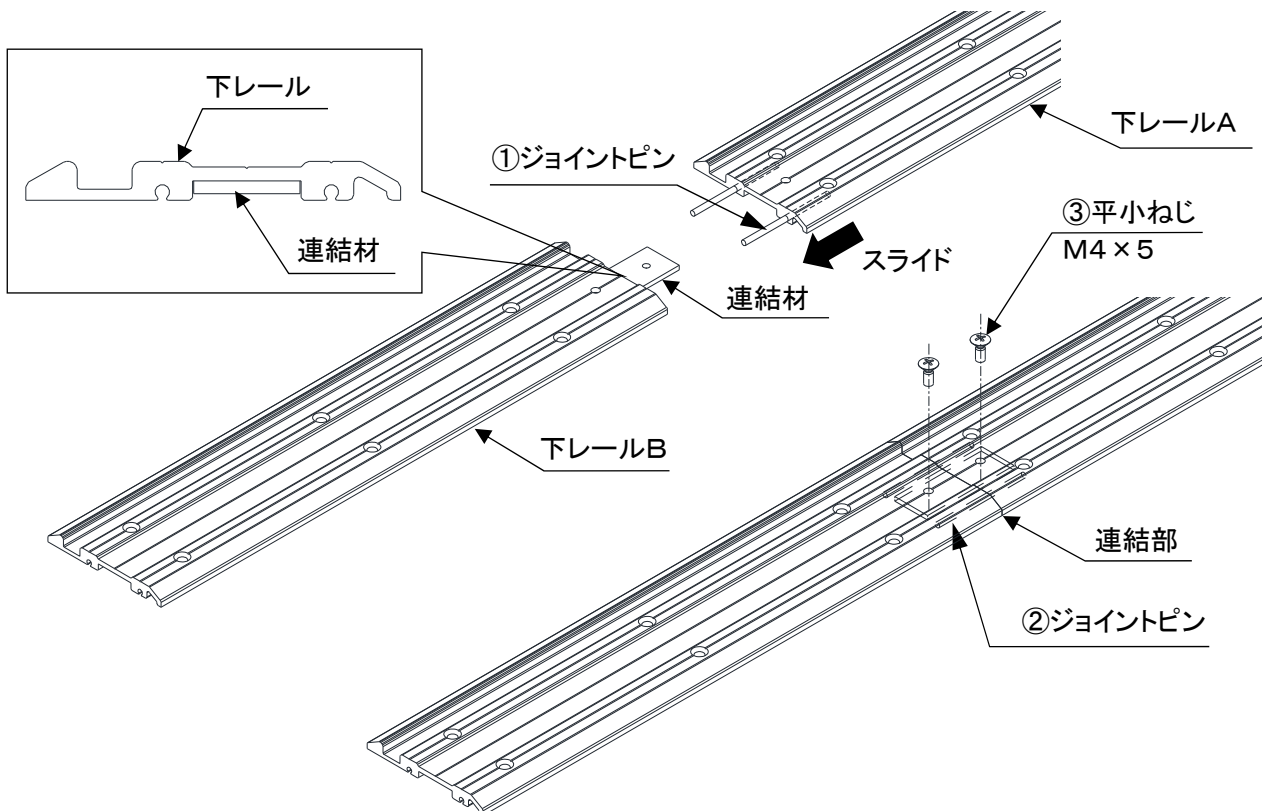
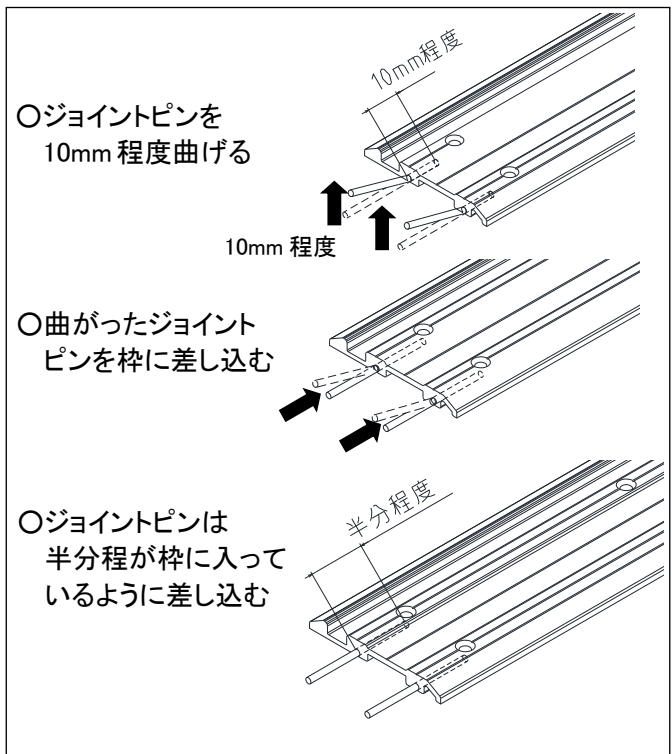
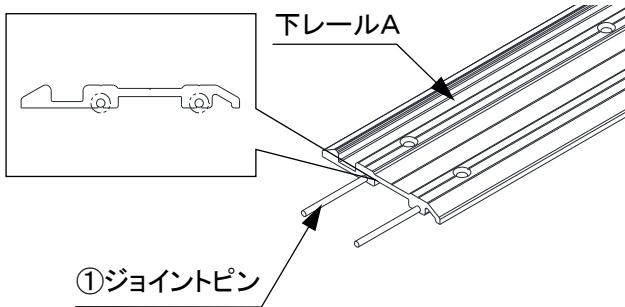
- ① 下レールAに貼り付けてあるジョイントピン、(+ )平小ねじM4×5を袋から出し、ジョイントピンを下枠の ○ 印部に挿入してください。

※ジョイントピンは引っ掛かりがないため、下レールの中に入ってしまうので、下レールにジョイントピンの先端を10mm程度挿入した状態で少し曲げてから、ジョイントピンが半分程度入るまで差し込んでください。

- ② 下レールAと下レールBの小口を合わせ、ジョイントピンが下レールAと下レールBに半分ずつ入っている状態にしてください。

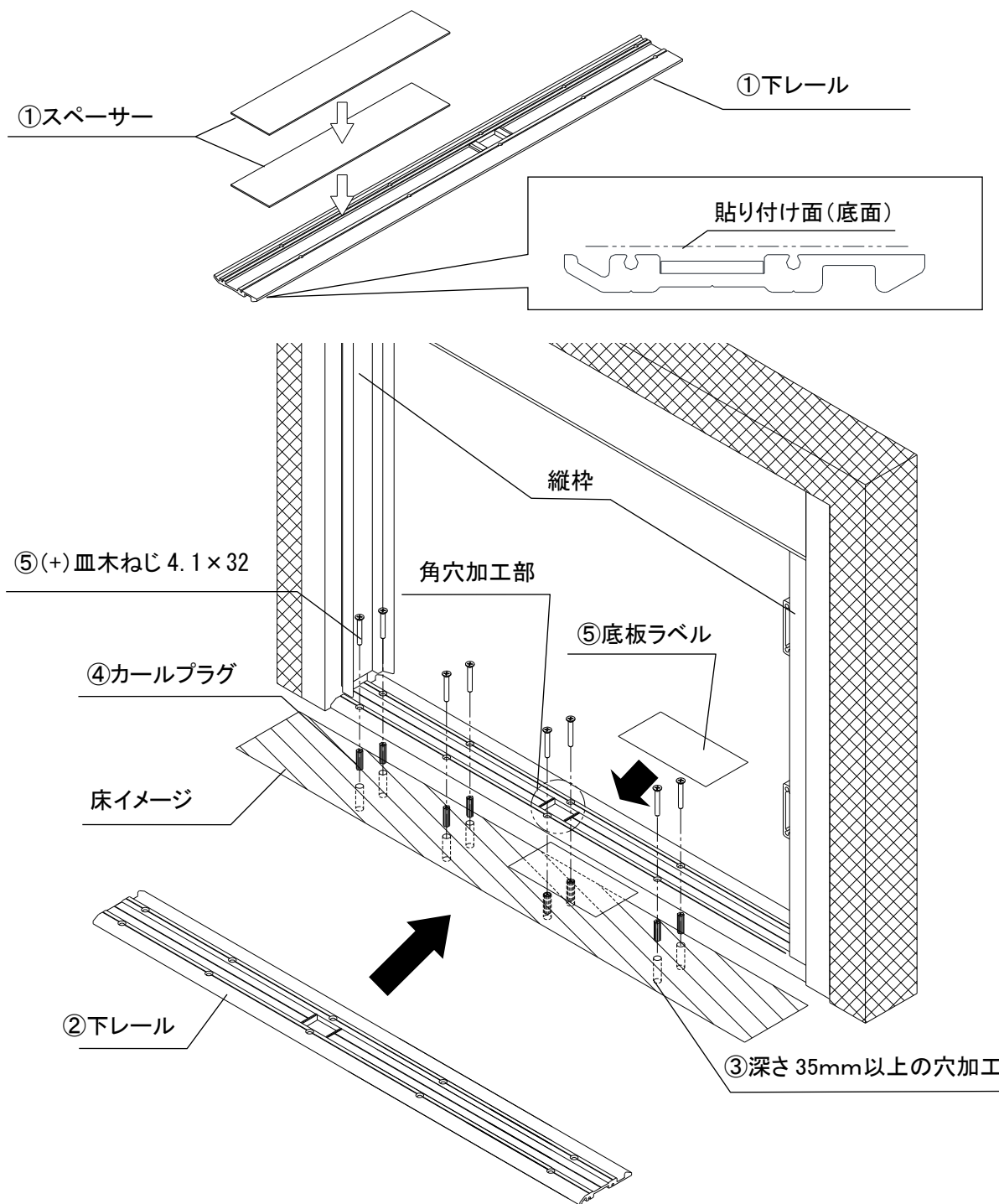
- ③ ①で袋から出した(+ )平小ねじM4×5で連結材と下枠 A を固定してください。

**注意** 連結部にすき間がないことを確認してください。



## ■ 下枠レール取り付け

- ① H寸法を再確認し、±5mm より開口が大きい箇所がある場合は同梱のスペーサーを必要分カットして、下レール底面に貼り付け、高さ調整をしてください。スペーサー1枚当たり約1mm調整が可能です。  
※H寸法が±5mm 以内の場合は、スペーサー及び調整作業は不要です。
- ② 下レールを縦枠間に入れ込み、取り付け穴加工位置をマーキングしてけがいてください。
- ③ 下レールを一旦外し、取り付け穴加工位置にφ6のキリにて土間に深さ35mm以上の穴をあけてください。
- ④ 穴にカールプラグを差し込んでください。
- ⑤ 下レールを取り付け位置に設置し、角穴加工部は床と下レールの間に底板ラベルをはさみこんだ後に、(+ )皿木ねじ 4.1×32にて固定してください。



⑤最後にねじの止め忘れ・締め忘れの無いよう、確実に固定してあることを確認してください。

